

MBox Viewer のカラースタイル設定ヘルプ

カラー スタイル構成機能の詳細については、パッケージに付属のユーザー ガイドを参照してください。

カラー スタイル構成ダイアログを使用すると、ダイアログ ボックスにリストされている 8 つのペインの白い背景を、定義済みの色またはユーザーが定義したカスタム色に置き換えることができます。

ダイアログには、カスタムカラースタイルを設定する前に評価できる 16 種類の定義済みカラースタイルが表示されます。添付ファイル付きのメールを 1 つ開いて、添付ファイルパネルで定義済みカラースタイルとカスタムカラースタイルを確認すると便利です。

カスタムカラースタイルを作成する方法

「カスタム」ラジオ ボタンを選択して、カスタム カラー スタイルの構成を開始します。

各ペイン (MailArchiveTree など) に同じ色または異なる色を設定します。

いずれかのペインを選択し、「色を選択」ボタンを左クリックして、「色選択ダイアログ」を起動します。

「色を選択」ボタンには、最初に選択したペインに関連付けられた色が表示されます。

カスタム カラー領域の上位 2 つの行には、最初に各ペインに関連付けられた色が入力されます。

4 つの異なる領域で色を変更できます。左上のセクションには、48 色の定義済み色のリストが表示されます。

希望する色がそのセクションにない場合は、十字アイコン (-|-) をクリックして、マルチカラーパレット内でマウスをドラッグします。

パレットの色に基づいて範囲を表示する右側のバーをドラッグすることもできます。

より正確な色を設定するには、カスタムカラーエディター領域に赤、緑、青の値を入力します。それぞれ 1～255 の整数値を使用します。

カスタムカラーの設定が完了したら、「色の選択ダイアログ」の「OK」ボタンを左クリックします。「色の選択ダイアログ」が閉じられ、「カラースタイルの設定」ダイアログに戻ります。

「色を選択」ボタンは、作成されたカスタム カラーで塗りつぶされます。

「選択したペインに適用」または「すべてのペインに適用」のチェックボタンを左クリックすると、選択したペインまたはすべてのペインに新しい色が適用されます。変更をキャンセルするには、「選択したペインに適用」または「すべてのペインに適用」のチェックボタンをもう一度左クリックします。

[保存]ボタンを左クリックして変更を保存します。

最後に保存または起動してから行われたすべての変更を破棄するには、**[キャンセル]**ボタンを左クリックします。

閉じるボタンまたは **Windows 標準の閉じるボタン**を左クリックすると、「色選択ダイアログ」が非表示になります。それまでに行った変更は破棄されません。再度開くには、「ファイル -> カラースタイル設定」メニューオプションを選択してください。

保存したカラースタイルはすべてのメールに適用されますのでご注意ください。アクティブなメールのカスタムカラースタイルを一時的に無効にするには、メールメッセージウィンドウのメールヘッダーを右クリックし、「カスタムカラースタイルの有効化/無効化」メニューオプションを選択してください。

